

# 中堅・中小企業のGX促進に向けた 面的支援事例分析調査

2025年3月7日

近畿経済産業局

カーボンニュートラル推進室

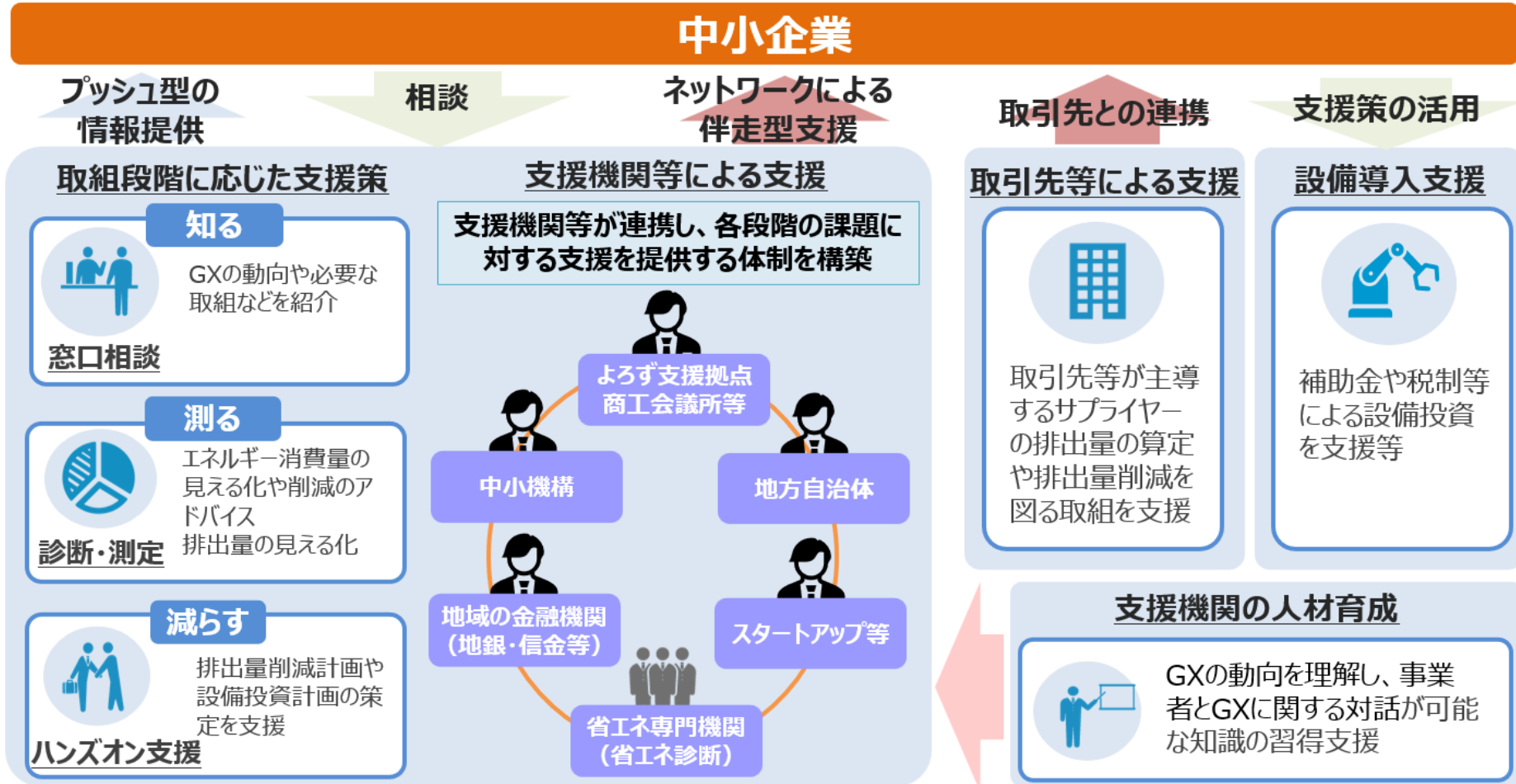
# **本日のご報告ポイント**

---

- (1) GX支援の現場でよく聞く問題**
- (2) サプライチェーンGX検討の現場でよく聞く問題**
- (3) 企業支援の実践につながる地域のGX支援の現場とは**

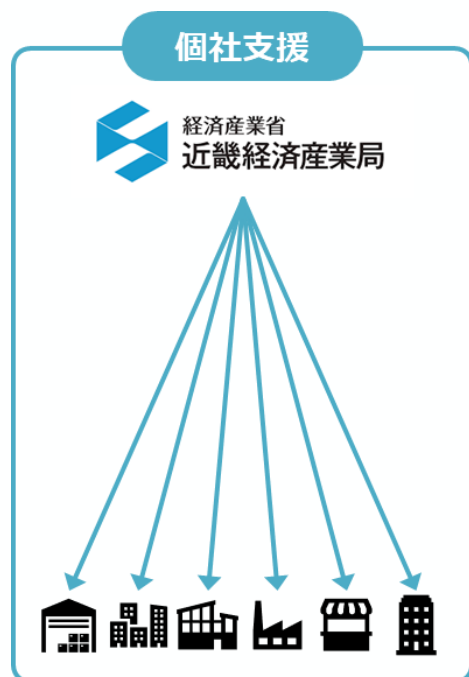
## 中小企業のGX推進に向けた施策の強化

- これまで、中小企業のGXに向けて、**中小機構のCN相談窓口**から、専門的な**省エネ診断**に至るまで、きめ細やかな相談受付体制を整備するとともに、様々な設備投資支援を実施。
- さらに、中小企業が**更なる省エネに取り組むための支援の充実、プッシュ型で支援を行うための支援機関への人材育成や地域ぐるみで支援する体制の拡大、取引先による中小企業との連携強化**等を通じてGXの推進により**中小企業が取り残されることがないよう公正な移行を進めていく。**

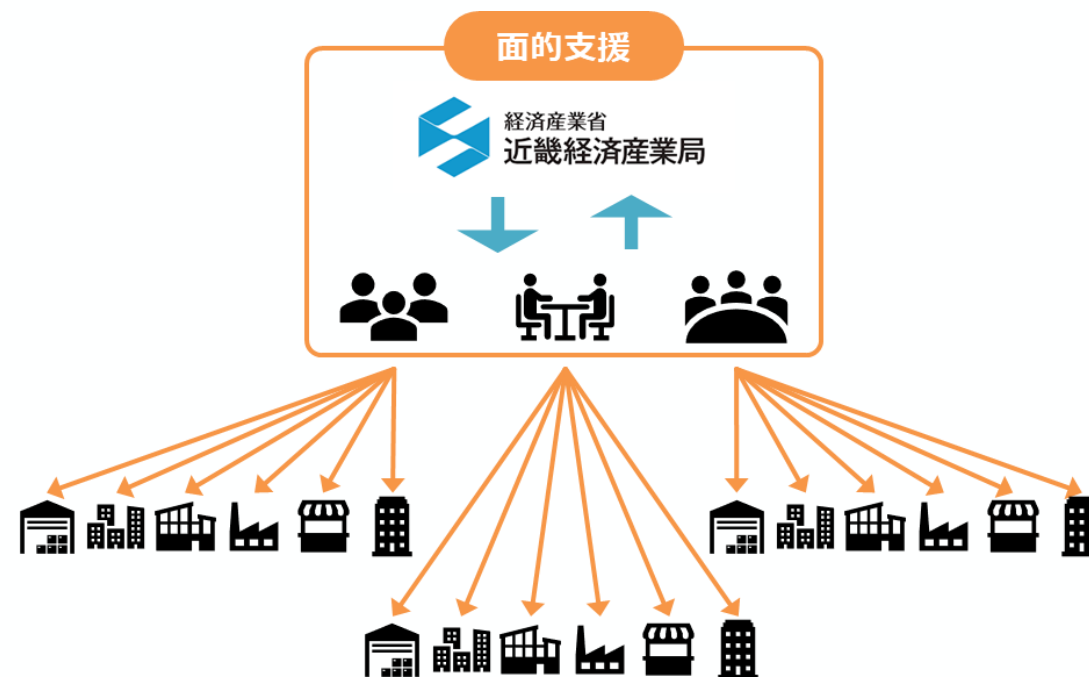


# 中堅・中小企業の面的GX支援プロジェクト

- 大阪・関西万博等を契機に中堅・中小企業のGXを効率的かつ効果的に促進するため、**地域の支援機関や自治体等との連携による面的な支援を強化**する。



- ・ 個別の情報提供や相談対応、補助金交付等を通じた、中堅・中小企業への直接的な支援
- ・ 対象となる支援者数やきめ細やかな相談対応等には限界あり



- ・ 地域の支援機関や自治体等と連携した、複数の中堅・中小企業への直接的または間接的な支援
- ・ 令和6年度は、6つのアプローチで取り組む  
(①支援機関、②金融機関、③サプライチェーン、④自治体、⑤工業団地、⑥業界)

# 中堅・中小企業の面的GX支援プロジェクト

- 面的GX支援事例モデルの創出に向け、6つのアプローチで取り組む。

## 支援機関アプローチ



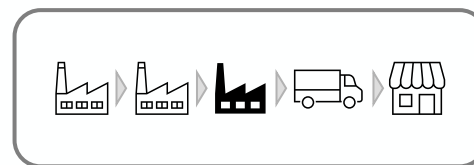
- 中小企業支援機関等によるGX支援事例の増加を目指し、支援機関の人材育成・体制強化に資するモデルプロジェクトの創出・横展開に向けた取組を実施。

## 金融機関アプローチ



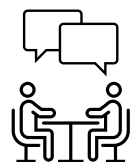
- 金融機関によるGX支援事例の増加を目指し、それぞれのターゲット層（経営トップ、支店長等、営業担当者等）のニーズや課題に応じた取組を組み合わせる実施。

## サプライチェーンアプローチ



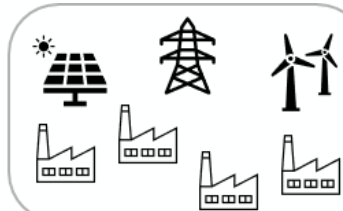
- 地域におけるサプライチェーン全体のGX促進に向けて、大企業や地域特性の現状・実態把握に努めるとともに、支援機関や金融機関等と連携した支援の在り方を検討。

## 自治体アプローチ



- 個々の自治体のニーズや取組状況を踏まえ、産業部局と環境部局をまたがる部門横断的な伴走支援を通じてGXの取組を後押し。

## 工業団地アプローチ



GXに取り組む工業団地のモデル化

- 地域の関係者や専門家とともに工業団地のGX化に向けたモデルケースの構築を進めるとともに、立地自治体とともに支援施策の検討を実施。

## 業界アプローチ



- 省エネセンター等との連携の下で「省エネ診断」や「無料講師派遣」等の制度を活用し、省エネに係る取組の意識醸成から具体的な取組の実践までを支援。

# (1) GX支援の現場でよく聞く問題

- 中小企業に対するGX支援の取組が、組織内で評価されにくい **【組織】**
- 支援機関等の集まりはあるが、企業支援に辿りつかない **【ネットワーク】**
- GXに取り組むメリットを中小企業に説明しづらい **【コミュニケーション】**

## 支援機関の担当者の声（例）



# キーとなる関係性① 組織の経営トップと現場担当者

- 支援機関が組織として、経営トップと現場担当者のベクトルを一致させることができるか。

## (金融機関の例)

### 【経営トップ】 地域金融機関経営トップ等への 脱炭素インタビュー企画

▶HP 記事は[こちら](#)



- 近畿管内の金融機関と連携し、経営トップ等に個別取材を実施。
- 経営トップの多くが脱炭素を経営課題の一つとして位置づけ、支店や営業担当者による取引先企業への経営支援等の一環としてCN支援も併せて推進する方針を掲げていることを、組織内外に発信。

### 【支店長等】 CNの潮流・支援策に関するセミナー

▶チラシ



- 近畿財務局にて毎年行っている金融機関向けの定点アンケート調査結果を共有するとともに、支援策等を紹介するセミナーを実施。
- 直近2年連続で年度初めに実施しており、その年の支援策を経営企画部門や支店長が営業担当者を通じて普及する土台づくりを行う。

### 【営業担当者等】 企業支援を想定したワークショップ

▶当日の様子



- 脱炭素支援の前線で活躍する地域金融機関の営業担当者の人材育成として、ワークショップを実施。
- 支援策を知るだけでなく、取引先企業に経営支援等を実施する際のデモンストレーションを行うことで、企業支援を促進。

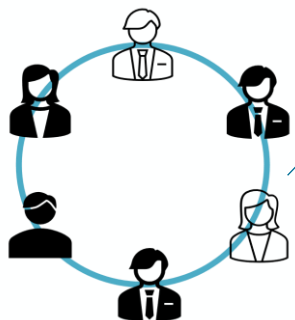
# キーとなる関係性② 地域の支援機関ネットワーク

- 定期的な情報交換を超えて、協働の取組を通じた相互理解を深める関係性を構築できるか。

(和歌山県の例)

## 支援体制整備

(R5) 和歌山県を中心に、経営×CNの観点、伴走支援ノウハウ、CN支援策等の知識を得るとともに、支援機関同士が連携した取組について検討するネットワーキングイベントを実施。



### 【参加機関】

和歌山県  
和歌山市、和歌山商工会議所、わかやま産業振興財団、  
和歌山県工業技術センター、わかやま環境ネットワーク、  
和歌山大学、東京海上日動、  
紀陽銀行、きのくに信用金庫、  
(一社) 環境エネルギー事業協会  
(独法) 中小企業基盤整備機構近畿本部



## 支援に向けたアプローチ等

### <省エネ診断ウォークスルー体験>

#### ・省エネ診断同行



#### ・結果・改善報告会参加



### 【参加機関】

・和歌山県工業技術センター  
・NPO法人わかやま環境ネットワーク  
・近畿経済産業局

#### ・NWでの情報共有



・専門家が説明・報告した改善策  
に取り組む際に活用できる支援策  
を支援機関等より提案。

・企業内をエネルギーの観点で見学し、専門家の報告等を聞くことで、CN観点での企業の改善点・課題が明らかになり、それに対して支援機関からの施策提案サポートを行うという現場・経営両面での支援連携の形ができた。

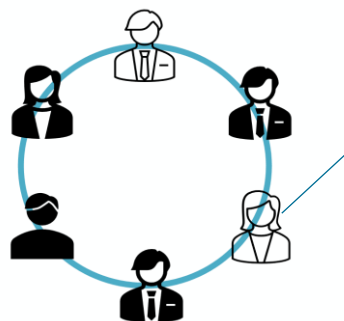
# キーとなる関係性③ 企業とのコミュニケーション体制

- 各組織の強みを相互に認識し、企業との対話や具体的支援を実践できる体制を構築できるか。

(神戸市の例)

## 支援体制整備

(R5) CN実現に向けた各取組段階（知る・測る・減らす・続ける）に対応する各機関の施策の整理を行った上で、神戸市内の中小企業によるCN課題ピッチとそれを踏まえた経営課題解決の糸口を探るネットワークイベント等を実施



### 【参加機関】

神戸商工会議所、  
兵庫県、神戸市、神戸市産業振興財団  
ひょうご環境創造協会、こうべ環境フォーラム  
ワット神戸、(株)みのりアソシエーツ、  
三井住友銀行、みなと銀行、信金中金神戸支店  
日本政策金融公庫神戸支店、  
(独法) 中小企業基盤整備機構近畿本部



## 企業支援の実践

### <支援機関が連携した支援の実施>

#### 公的支援機関（市）

神戸市産業振興財団



#### ①企業アプローチ

セミナー・WS開催、訪問ヒアリング、  
相談窓口の案内

#### ③取組・SBT申請サポート

省エネ診断への同席、  
SBT申請補助の活用、  
申請手続サポート

#### ④フォローアップ

#### 公的支援機関（国）

中小機構近畿本部



#### ②GXの取組伴走支援

現状取組ヒアリング、現地での確認、  
計画策定 等（WS共催）

神戸市内企業



・これまで8社の取組伴走、SBT申請支援等につながっており、GX支援に関するノウハウが蓄積している。

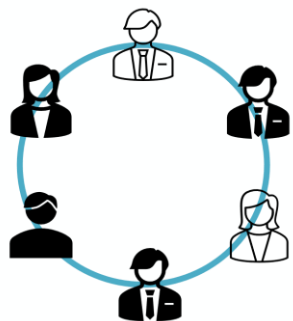
# キーとなる関係性③ 企業とのコミュニケーション体制

- 各組織の強みを相互に認識し、企業との対話や具体的支援を実践できる体制を構築できるか。

## (門真市の例)

### 支援体制整備

(R5) 金融機関の若手支店行員が、自行のCN関連金融商品や他機関の支援策等を例示しながら取引先企業にCNに取り組む必要性を伝えることができるようになることを目指したネットワーキングイベントを実施。



#### 【参加機関】

門真市、守口市、守口門真商工会議所  
尼崎信用金庫門真支店、大阪シティ信用金庫門真支店、  
京都信用金庫門真・守口支店、四国銀行守口支店  
日本政策金融公庫守口支店、  
枚方信用金庫守口・守口東・大和田・門真東・寝屋川西支店、  
みずほ銀行京阪法人部、  
中小企業サポートセンター、  
(独法) 中小企業基盤整備機構近畿本部、  
(一財) 省エネルギーセンター



### 企業支援の実践

#### <連携した伴走支援の実施>

##### 行政機関

##### ①GXに関する説明・WS

##### 金融機関（営業担当）

##### ②訪問企業の選定

##### ③両者での支援提案の実践

門真市・近畿経済産業局

+

枚方信金/ 京都信金



取引先企業（計3社）



- ・GXの全体概要・潮流について
- ・見える化にむけたサポート
- ・事例紹介
- ・省エネ診断・攻めのGX講座の案内 等

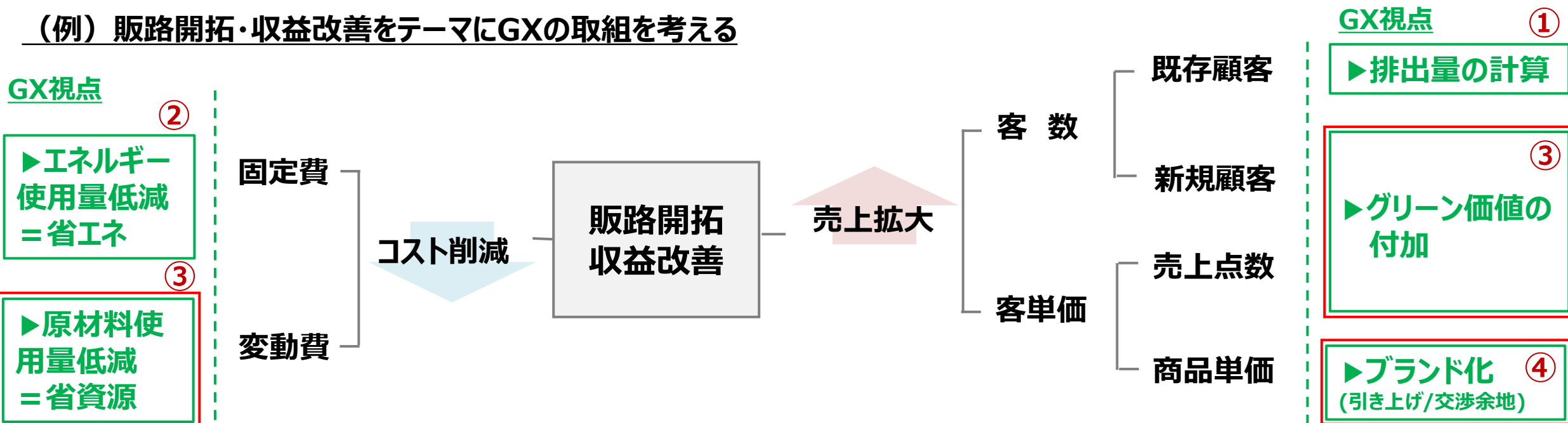
##### ④定期フォローアップ

- ・金融機関担当と企業のGX講座参加に繋がるとともに、他2社についても次年度の省エネ診断の受診を検討中。
- ・実際の訪問に向けた勉強会の実施や支援の実践によって、行内のGX支援の理解が進んでいる。

# (参考) 企業の経営課題をGX視点から捉える

- 中小企業にとっては、GX価値自体より、経営課題解決につながる文脈の方が聞きやすい場合も。

(例) 販路開拓・収益改善をテーマにGXの取組を考える



## <取組の優先順位>

①短期的 : 排出量の計算 → サプライチェーンからのアンケートに対応

② // : 省エネによるエネルギー使用量（コスト）削減

③④中長期的 : グリーン価値付加による新規顧客獲得、ブランド化による商品単価向上

守りのGX

攻めのGX

# (参考) GXの取組の大きな2分類

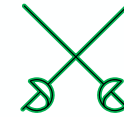
## 守りのGX



- 取引先維持
- コスト削減

- GHG削減を目的に、積極的に省エネと再エネ電力の導入を行うことで電力・エネルギー使用量の減少などコストメリットがある
- 「しる・はかる・へらす」にしっかり取り組む企業
- 顧客からの要請、将来のカーボンプライシングに必要な対応でもあり、事業継続に必要だと中堅・中小企業の経営層が理解し、取り組むきっかけとなりやすい

## 攻めのGX



- 取引先拡大
- 売上拡大

- GX推進の流れを新たな事業機会と捉え、GHG削減につながり、かつ自社の強みを生かした新事業の立ち上げや新製品の開発に積極的に取り組む
- こうした取り組みを積極的にPRし、補助金申請に利用したり、新規受注につなげていく

取組のPRにより、さらなる「営業効果」、「企業価値の向上」、「人材採用」につなげることも期待

**(参考) 「攻めのGX」も支援機関のサポート領域**

- 支援機関による伴走支援を行いやすくするため、企業と支援機関のペア参加の講座として実施。

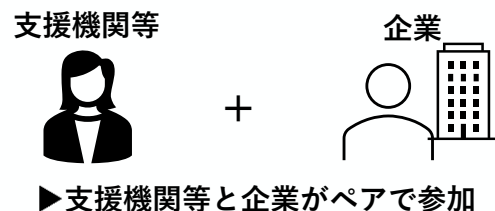
**(例) 「攻めのGX」 促進に向けた2DAYS講座**

※株式会社スキルアップNeXt（GXリーグ「GX人材市場創造ワーキング・グループ」リーダー企業）と連携

## 概要

- ◆ 日時：2024年11月11日～12日 13:30～16:30  
◆ 場所：オプテージ本社 ◆ 参加費：無料  
◆ 主催： 経済産業省  
近畿経済産業局  スキルアップ  
Next

## 参加形式



## 内容

## DAY1



## ▶インプットセミナー

- ・GX全体概要
- ・大企業が直面している課題と期待
- ・取組事例
- ・脱炭素分野で新事業展開に必要な思考フレーム

## DAY2



## ▶ワークショップ

- ・ 攻めのGXとは
- ・ GXの全体世界観について
- ・ GX分野で新規事業を考えるためのワーク  
(GX価値、訴求ポイントの整理等)



## ＜参加者からの声＞

- ・（支援機関・金融機関）一緒にワークに取り組むことで、企業との距離が近くなるとともに、より企業の取組を詳しく知る機会となった。
- ・（参加企業）守りの観点でSBT認定の取得をしていたが、本取組を事業として打ち込んでいくという気付きを得た。

→参加後も支援機関よりフォローアップ行い、SBT認定の取得サポートやPRといったGX支援につながる事例が生まれている。



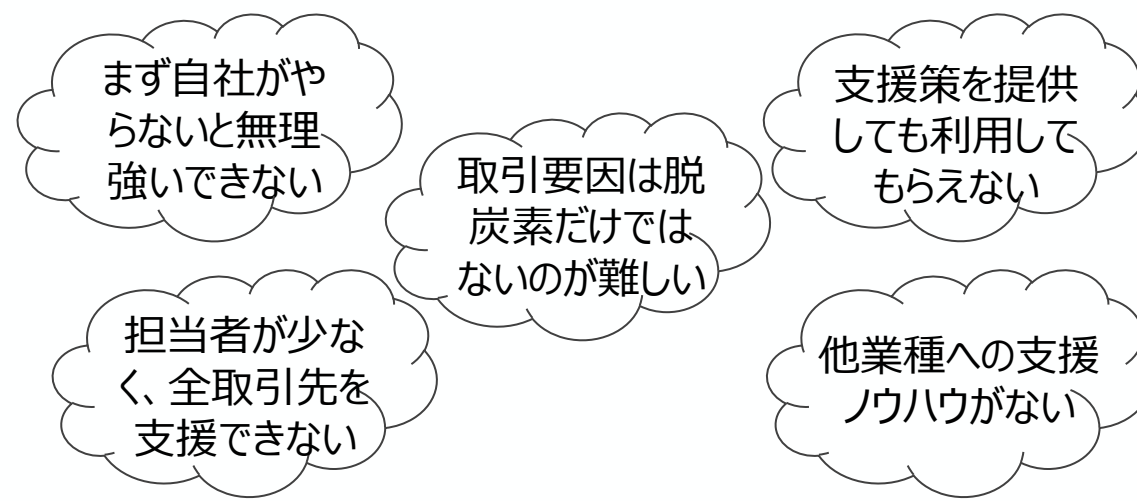
## (2) サプライチェーンGX検討の現場でよく聞く問題

- GXに取り組んだ場合の、取引上のメリットが曖昧 **【中小企業】** (サプライヤ)
- あくまでお願いベースだが、実際取り組んでももらえないと困る **【大企業】**
- 業種によって取組の喫緊性や協働できることが異なる **【業界】**

### 中小企業の担当者の声 (例)



### 大企業の担当者の声 (例)



# サプライチェーンのGX検討における共通課題（例）

## 【大企業の課題】

|   | 項目            | 概要                                                                                                                                                                                                                               |
|---|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 社内リソースが限られている | <ul style="list-style-type: none"> <li>人員等に限りがあるため、直接指導できる先は少数。そのため、支援できる期間、内容にも制限があり、支援の優先順位の検討が必要。</li> <li>生産管理に精通している担当や、中小企業との関わりが多い担当者であれば、支援が比較的スムーズであるが、取引先と業種が違っている場合は、他業種への知識・支援ノウハウが求められることもあり、支援人材の育成が必要。</li> </ul> |
| 2 | 社内連携          | <ul style="list-style-type: none"> <li>調達部門を中心に、調達基準にCNへの取組をどう反映させるかといった基準策定や、サステナビリティ推進関連部署等との連携が求められる。</li> </ul>                                                                                                              |
| 3 | 経営層の理解        | <ul style="list-style-type: none"> <li>社としての方針・計画が示される必要性がある。</li> </ul>                                                                                                                                                         |
| 4 | 自社の取組状況       | <ul style="list-style-type: none"> <li>自社としても取り組みを進めている最中のため、取引先に強く求める状況にない。</li> </ul>                                                                                                                                          |
| 5 | 業界・事業の特性による事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>資材レベルでの変革が必要なケースや、使用における排出が排出の多くを占めている場合、現場ごとに管理する必要があるといった個別事情によって取組推進が難しいケースもあり。</li> </ul>                                                                                             |
| 6 | 他機関との連携       | <ul style="list-style-type: none"> <li>大企業側の方針に沿った取組を求めているが、他機関の支援活用に繋がらない。</li> </ul>                                                                                                                                           |
| 7 | 取組メリットの提示     | <ul style="list-style-type: none"> <li>取引の中での優遇が難しい。（表彰制度等はある）</li> </ul>                                                                                                                                                        |

## 【中小企業等の課題】

|   | 項目      | 概要                                                                                                                              |
|---|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 経営層の理解  | <ul style="list-style-type: none"> <li>社としての方針が示される必要性がある。</li> </ul>                                                           |
| 2 | リソース不足  | <ul style="list-style-type: none"> <li>他の経営課題と比べて、取り組む優先順位が上がらない。</li> </ul>                                                    |
| 3 | 人材確保・育成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>GXを推進できる人材がいないほか、育成する余裕がない。</li> <li>本分野に限らず、人材が不足しており、取り組む際も、兼任といった形での実施が多数。</li> </ul> |
| 4 | 資金の不足   | <ul style="list-style-type: none"> <li>GXに取り組むための余裕がない。</li> </ul>                                                              |
| 5 | 時間の不足   |                                                                                                                                 |
| 6 | 情報の不足   | <ul style="list-style-type: none"> <li>GXに取り組むにあたっての方法や取組事例等の情報を持っていない。</li> <li>どこに相談すれば良いのかわからない。</li> </ul>                  |

# キーとなる関係性④ 大企業と中小企業（サプライヤ）

- 大企業から中小企業に一方的に要請を行うだけでなく、双方向で検討し対策に取り組む事例も。

|   | 業界    | 攻め／守り<br>(ヒアリング結果) | サプライヤ支援ステップ   |                 |                  |                 |          |                                   |               | サプライヤに対する<br>特徴的な協働アプローチ |
|---|-------|--------------------|---------------|-----------------|------------------|-----------------|----------|-----------------------------------|---------------|--------------------------|
|   |       |                    | a.自社目標<br>の共有 | b.GX関連<br>情報の共有 | c.アンケート<br>で状況把握 | d.サプライヤ<br>目標設定 | e.企業訪問   | f.直接指導                            | g.新たな<br>支援方法 |                          |
| 1 | 輸送用機器 | 守り                 | ◎             | ◎               | ◎                | ○<br>一部         | ○<br>一部  | ○<br>一部、生産現場指<br>導実施              | △<br>検討中      | 関係会社への定期訪問               |
| 2 | 輸送用機器 | 守り                 | ◎             | ◎               | ◎                | ◎               | ○<br>一部  | ○<br>一部、生産現場指<br>導実施              | △<br>検討中      | サプライヤ協力会との協働             |
| 3 | 輸送用機器 | 守り                 | ◎             | ◎               | ◎                | ×               | ×        | ○<br>算定方法の勉強会                     | △<br>検討中      | サプライヤ協力会向け説明会            |
| 4 | 電機・電子 | 守り                 | ◎             | ◎               | △<br>排出量の共有依頼    | ×               | ×        | ×                                 | ×             | 優良事例の表彰制度                |
| 5 | 電機・電子 | 守り                 | ◎             | ◎               | ◎                | ◎               | ×        | ○<br>CFP算定など                      | ×             | 調達方針に脱炭素要件を明記            |
| 6 | 電機・電子 | 守り                 | ◎             | ◎               | ◎                | ×               | ○<br>一部  | ×                                 | △<br>検討中      | 取引先が多いエリア毎の説明会           |
| 7 | 建設    | 守り                 | ◎             | ◎               | ◎                | ◎<br>SBT推奨      | ○<br>一部  | △<br>目標設定支援ツール                    | ×             | 支援機関訪問の際の同行              |
| 8 | 繊維    | 守り                 | ◎             | ◎               | ◎                | -<br>未確認        | ○<br>一部  | △<br>支援トライを計画                     | ×             | 経営トップ同士での会話              |
| 9 | 包装資材  | 守り                 | ◎             | ◎               | -<br>未確認         | -<br>未確認        | -<br>未確認 | ○<br>一部にCO <sub>2</sub><br>みえる化支援 | ×             | 仕入量の多い2社との協働             |

# (参考) サプライチェーンを「攻めのGX」「守りのGX」視点から捉える

- 大企業と中小企業の双方にとってメリットがある取組や、協働しやすい領域を見つけられるか。



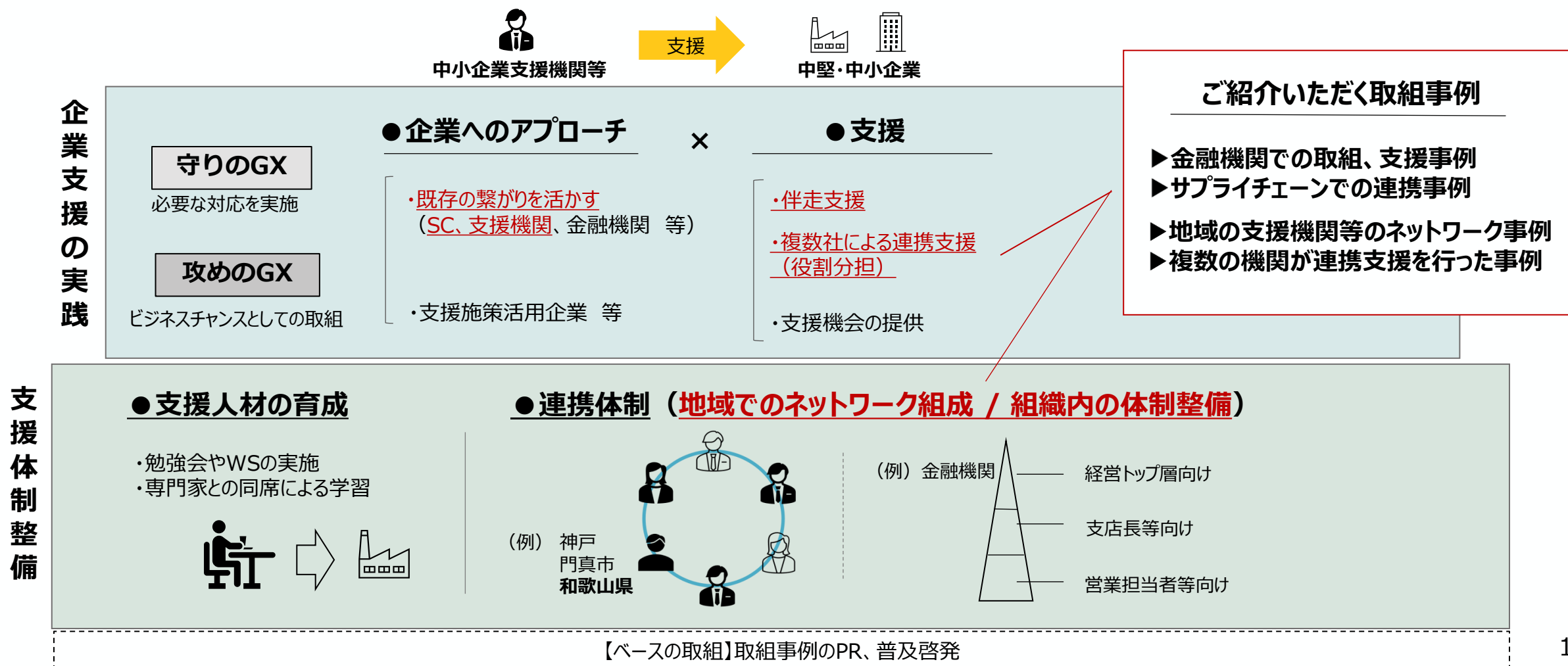
# (参考) 「サプライチェーンGX」も支援機関のサポート領域

- 大企業と中小企業のパートナーシップによるGXの取組を、地域の支援機関が補完・後押しする。



# (3) 企業支援の実践につながる地域のGX支援の現場とは

## ● 1件の事例創出に向けて、企業や支援機関の"関係性"の質向上に地道に取り組む地域



# (参考) 関西企業や支援機関のGX取組事例

## 企業の取組事例

### ● 攻めのGXスタートアップ

KIZASHI  
[関西おもしろ企業事例集 - 企業訪問から見える新たな光(きざし)-]

攻めのGXスタートアップが拓く、成長型の脱炭素社会

### ● GXに取り組む管内企業

カーボンニュートラル実現に向けた  
関西企業等の取組事例  
～コツコツ減らそう！我が社のCO2削減のコツ～

|                                                                        |                                                                           |                                                                     |                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| <b>株式会社加平</b><br>取材時期：令和6年2月<br>#合成皮革の製造<br>#中小企業版SBT<br>#ESG融資        | <b>UCC</b><br>取材時期：令和6年7月<br>#コーヒー製造<br>#水資源利用<br>#サステナブルなコーヒー調達          | <b>株式会社ミヤフチ</b><br>取材時期：令和6年9月<br>#省エネ診断サービス<br>#温室ハウス削減<br>#食料ロス削減 | <b>MKグループ</b><br>取材時期：令和6年10月<br>#ZEV化<br>#水資源活用<br>#地域脱炭素モデル<br>#カーボンオフセット |
| <b>Lustroware</b><br>取材時期：令和6年12月<br>#プラスチック<br>#エネマネ<br>#地域連携<br>#再活用 | <b>like-it.</b><br>取材時期：令和6年12月<br>#プラスチック<br>#環境配慮型素材<br>#LCA評価<br>#企業連携 |                                                                     |                                                                             |

## 近畿地域での支援事例

### ● 各種取材記事のPR

・各地域でのNWにおける取組事例についても年度内に掲載予定。

Jiji.COM  
2025年3月3日(月)  
東京都(東京) 7℃ / -℃ 100%

トップ トランプ米新政権 速報 最新ニュース 連載 国際 政治 経済 社会 スポーツ エンタメ ライフ

時事ドットコムニュース > 自治体便り > サプライチェーン全体で取り組む脱炭素化事例のご紹介～ダイハツ工業株式会社～近畿経済産業局

小 中 大

サプライチェーン全体で取り組む脱炭素化事例のご紹介～ダイハツ工業株式会社～近畿経済産業局

2025年02月28日11時00分

出典：Jiji.COM <https://www.jiji.com/jc/article?k=20250228Pr4&g=jmp>

▶ 上記掲載から、別媒体への掲載、セミナーへの登壇、協業の相談依頼等に繋がっているケースもあり。

# まとめ

- 中小企業がGXに取り組みやすくするためには、販路開拓・収益改善などの主たる経営課題の解決に資する形でGXに取り組むことも重要。
- サプライチェーンにおける協働や、支援機関からの支援を念頭に置きながら、「守りのGX」「攻めのGX」の中で取り組みやすい内容から実践することもある一案。
- 各地域において着実に支援体制の整備が進んでいる一方、現場で機能するGX支援事例の数はまだ少なく、実践的な企業アプローチ・支援の蓄積が必要。
- 中小企業のGXを進めるには、地域の大企業・中小企業・支援機関の関係性の質を高めていくことが必要。

# ご清聴ありがとうございました

【お問合せ先】

経済産業省 近畿経済産業局  
カーボンニュートラル推進室  
06-6966-6055